

平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

男子 1回戦

主審 大倉 守正

副審 片岡 秀文

正智深谷 65

(埼玉) ●

12	-	21
16	-	22
20	-	20
17	-	22
-	-	-

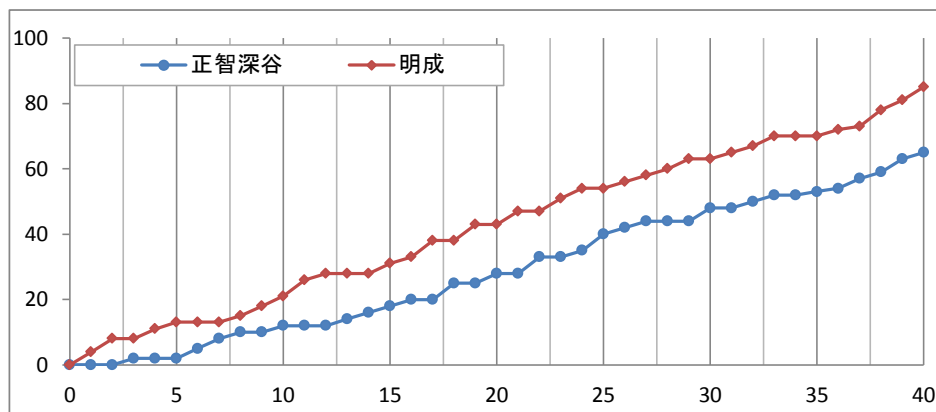
85 明成

○ (宮城)

No. 29c1

日時: 2013年7月29日(月) 9:30

会場: ベっぷアリーナ



正智深谷

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	青木 和希	12	0	5	2	2
5	亀山 裕樹	-	-	-	-	-
6	* 亀山 和樹	14	3	2	1	2
7	* 小山 司 (C)	10	0	5	0	3
8	* 金井塚 優樹	5	0	1	3	3
9	* 波多 智也	6	0	2	2	5
10	藤本 丈洋	0	0	0	0	0
11	斉藤 弥羅	-	-	-	-	-
12	* 飯田 絢介	8	2	1	0	0
13	森 黄州	8	0	3	2	3
14	奥住 将人	2	0	1	0	3
15	小森 風貴	0	0	0	0	0
コーチ	成田 靖					
合計		65	5	20	10	21

明成

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 金子 大希	4	0	2	0	0
5	阿部 元樹	0	0	0	0	0
6	* 植村 哲也	15	3	1	4	2
7	森川 文弥	3	0	1	1	2
8	納見 悠仁	0	0	0	0	1
9	築井 良知	9	1	3	0	1
10	* 白戸 大聖	25	5	5	0	1
11	* 宮本 滉希 (C)	3	0	1	1	2
12	柳川 知之	2	0	1	0	0
13	松本 健寛	7	0	3	1	3
14	* 八村 塁	17	0	7	3	2
15	三上 侑希	0	0	0	0	0
コーチ	佐藤 久夫					
合計		85	9	24	10	14

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

第1ピリオド、明成#14の連続得点で開始から試合の主導権を握る。0-8と明成がリードした2分過ぎに正智深谷がタイムアウトを取るが依然として試合のリズムは明成のままであり、明成のマンツーマンDefに正智深谷のOffが思うように機能しない。シュートが落ちたところを明成#14に確実にDefリバウンドをおさえられる展開が続く。しかし5分過ぎから正智深谷の激しいDefがようやく功を奏し、連続でターンオーバーを誘発し、#12の連続3Pで追撃を始め、10-15と5点差に詰め寄る。しかしここで明成も#10の3Pシュートで傾きかけた流れを取戻し、12-21と明成リードで第1ピリオド終了。続く第2ピリオドも明成#6の3pシュートと#16のペネトレイトと連続して得点し明成のペースで試合が進む。正智深谷も積極的なDefでターンオーバーを奪い、#14のミドルシュートや#4の3Pシュートで追いかけるが明成も#14のOffリバウンドからのバスケットカウントでペースを渡さない。そのまま前半は28-43で明成リードのまま終了する。

後半開始から両校ともランジッションの激しいゲームを展開する。正智深谷は#4の3Pシュートや素晴らしいアシストパスで点差を詰めようとするが明成も#14のインサイドプレイを中心に得点を重ねていく。一進一退の攻防が続くが第3ピリオド7分過ぎに正智深谷#9が5つ目のファウルでファウルアウト。これによりインサイドのバランスがより明成の方に傾く。第3ピリオドは明成が48-63と前半のリードを保ったまま終わる。第4ピリオドは正智深谷がオールコートでDefを仕掛け、#7のポストプレーで点差を詰めるが#14がバスケットカウントで突き放す。終盤は正智深谷は#13のミドルシュート、明成は#6を中心にOffを組み立てて得点を重ねていく展開で、正智深谷の必死の追撃も及ばず、明成が63-81で熱戦を制した。

記事者	津野 賢一郎 (所属) 大分県バスケットボール協会
-----	---------------------------